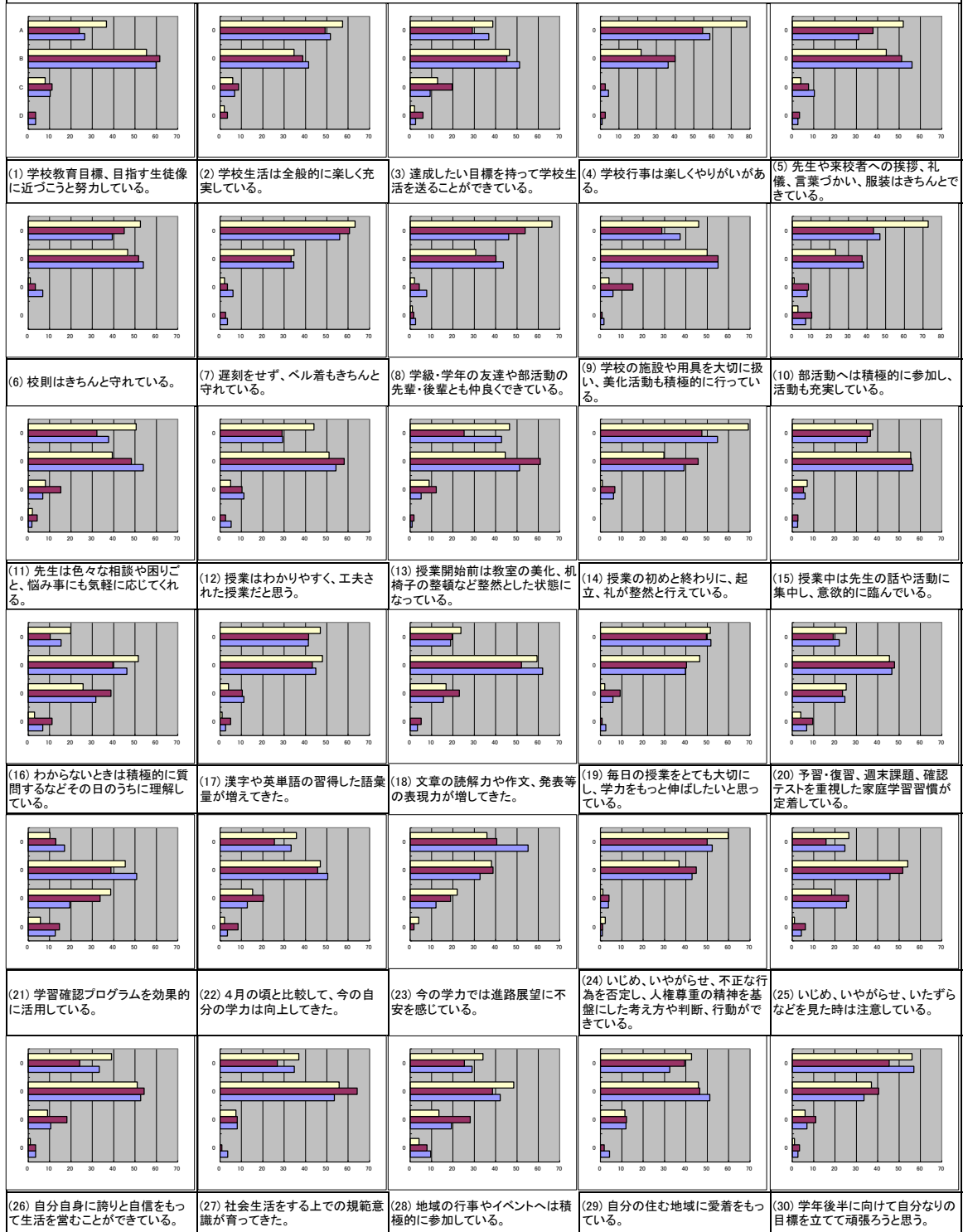


# 平成26年度 《生徒によるアンケート結果：前期》



※ グラフは各項目、上段：1年生、中段：2年生、下段：3年生。

生徒アンケートにおいては、おおむねA、B評価が多くなっている。(前期同様、例年以上にA、B評価が増えている設問が多い)  
特に、A評価が多いのは設問(2),(4),(6),(7),(8),(10),(14),(17),(19),(30)で、概ね学校生活は楽しく、授業や学校行事、部活動に積極的に取り組もうとしていることがうかがえる。  
C、D評価が30%を超えるのは、設問(16)、(20)、(21)、(25)、(28)であるが、昨年度や前期よりも改善されている。  
学習面において、設問(16)、(20)、(21)の結果は、改善されつつはあるが、日常の学習に取り組む姿勢や家庭学習の習慣化のさらなる取組の必要性を示している。しかし設問(18)については、一昨年度はA、B評価がC、D評価を下回っていたが、A、B評価が徐々に増加する状態が継続しており、言語力の向上をめざした取組の成果が現れている。今後、さらに取組を進めていきたいと思う。  
またこれまで同様、設問(24)では、A、B評価がC、D評価を大きく上回っているにもかかわらず、設問(25)ではC、D評価が多くなっており、いじめやいやがらせを自分ではないが、それを見たときに注意するまでにはいたっていないことを示している。ただ、前期は1年生でその傾向が顕著だったが、今回は改善が見られた。(C、Dが40%から30%に減少) 今後も、主体的かつ積極的に取り組めるような人権意識や規範意識の高揚を図っていきたい。  
設問(28)では、C、D評価がまだ30%以上と多くになっているが時徐々に地域の行事に積極的に参加し、地域を大切にしている心が育っていると思われる。今年度は、これまで以上に生徒会本部役員を中心に地域の行事に参加する機会を設けた。この取組を全校生徒に広げていきたい。